



追手門学院大学 新キャンパス誕生記念 「対談 宮本輝氏」 「次なる茨木、次なる追手門シンポ」

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、今年4月に大阪府茨木市に茨木総持寺キャンパスを開設したことを記念し、卒業生で芥川賞作家の宮本輝氏との対談や、地元茨木市の福岡洋一市長らを迎え「次なる茨木、次なる追手門」と題したシンポジウムを、6月30日に開催します。茨木市周辺の北摂地域における文化発信、人材育成拠点としての新キャンパスの可能性を茨木市と共に考えます。

このうち宮本輝氏との対談は、大学卒業生が一堂に会するホームカミングデーのメインイベントに位置づけ、事前申し込みのあった一般聴講者ら約400人が参加します。聞き手は本学副学長で日本近現代文学が専門の真銅正宏教授。本学が舞台となった「青が散る」から自伝的大河小説「流転の海」シリーズまでを話題に、人生と世界観について語り合います。

また、午後からのシンポジウム「次なる茨木、次なる追手門」は、茨木市長、茨木商工会議所会頭、大阪観光局理事長を迎え、北摂地域における大学の地域貢献や文化創造拠点としてのあり方について、産・官・学で議論します。

更にビジネスチャンスのきっかけづくりとして、茨木市に関係する企業の担当者、本学院の卒業生らとの交流会も開催します。

産官学が総持寺キャンパスに集い、一般の参加者とともに地域の発展、文化の発信を考える一日にしたいと考えています。

【ポイント】

- ホームカミングデーとして卒業生・宮本輝氏と近現代文学研究者・真銅正宏副学長の対談
- 産官学によるシンポジウム「次なる茨木、次なる追手門」を開催
- 茨木市関連の企業、追手門学院卒業生、追手門学院関係者によるビジネス交流会を開催

【概要】

日 時：2019年6月30日（日）

会 場：追手門学院大学 総持寺キャンパス（大阪府茨木市太田東芝町1-1）

・11時20分～12時20分

対談：宮本輝（大学1期生・芥川賞作家）×真銅正宏（副学長・日本近現代文学研究者）

※申込み多数につき満員

・14時30分～16時

シンポジウム「次なる茨木、次なる追手門」

溝畑宏大阪観光局理事長

福岡洋一茨木市長

合田順一茨木商工会議所会頭

川原俊明追手門学院理事長

・16時30分～17時30分

ビジネス交流会